

京都市立花背小中学校 学校教育の概要

学習指導要領から

- 1 生きる力(「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健やかな体」)の育成。
- 2 外国語教育、道徳教育、理数教育、伝統文化教育、体験活動の充実

京都市の学校教育

- 1 「一人一人の子どもを徹底的に大切に」理念のもと、市民ぐるみ・地域ぐるみの教育改革を推進する。
- 2 子どものよさや可能性を引き出し、人間形成の理想を求める学校教育を追求・実現する。
- 3 個と集団、社会との関わりを重視した教育を充実、深化させて、子どもが自ら主体的に学ぶようにする。
- 4 つけたい力を明確にした「言語活動」を推進する。
- 5 自律性と責任感の育成を目指した「協働活動」を推進する。

地域や保護者、児童生徒の願い

- ・花背の自然や伝統文化を、体験を通して学び、人に優しく、豊かな人格の形成を目指す。
- ・自立し、自活できるたくましい人間の育成。
- ・毎日通学するのが楽しい学校の創造。
- ・人の話をしっかり聞くとともに、自分の考えを正しく伝えられる力の育成。

「確かな学力、豊かな心、健やかな体」を身に付け、次代を生き抜く子どもの育成
郷土を愛する子どもを地域とともに育てる

一人一人の子どもの学力向上を目指すために、学力調査や京都市学習支援プログラムにおいて、
常なる結果の分析・検証を踏まえ、組織一体となった取組を推進する。
地域に誇りを持ち、大切に、地域社会を担う人間の育成を目指した教育活動を推進する。

確かな学力

- ・基礎的基本的な知識・技能の習得と活用
- ・思考力・判断力・表現力、さらに学ぶとする意欲の育成
- ・生涯にわたり学び続ける学習力の育成

豊かな心

- ・道徳教育の充実・規範意識の育成
- ・豊かな感性、情操を育む教育の充実
- ・支え合い高め合う集団づくりの推進と絆づくり

健やかな体

- ・運動やスポーツの実践と体力の向上
- ・保健教育の充実・食に関する指導の推進
- ・安全教育の充実・防災教育、防災管理の充実

【確かな学力】

- 1 基礎基本の定着を図る
- 2 京都市学習支援プログラム等の分析・検証を踏まえ、一人一人の子どもの学力を最大限に伸ばす指導を充実する。
- 3 言語活動を活性化させるために交流活動を積極的に行う。
- 4 家庭と一体となって、家庭学習の習慣化を図る。
- 5 研究発表を行い、他からの批正を仰ぎ、教育活動の向上を図る。

- ・小中9年間を見通したカリキュラム編成を行う。
- ・1年生から英語活動を取り入れることで、外国語活動の充実を図る。
- ・積極的な図書館利用の推進を行う。
- ・本好きの子どもを育てるための読み聞かせや新着図書の紹介を行う。
- ・100冊読破100%への挑戦(1～6年生)をする。
- ・そろばん学習を通して集中力と計算力を高める。

【健やかな体】

- 1 花背の自然や地域を活かした体力の向上を図る。
- 2 基本的生活習慣を確立する。
- 3 早寝・早起き・朝ごはんの実施を奨励する。
- 4 運動部活動を充実する。
- 5 自然災害等の知識を身に付けさせるよう防災教育を展開する。

- ・マラソン大会やスキー大会等の体育的行事の充実により体力の増進を図る。
- ・メディア依存の危険性の認識を地域と保護者、学校が共有する。

【豊かな心】

- 1 支え合い高め合う集団の育成を図り絆づくりを深める。
- 2 自尊感情の醸成を意識した取組を推進する。
- 3 道徳教育・人権教育の充実を図り道徳性を養い豊かな心情を育む。
- 4 ふるさと花背の自然環境への気づきや愛情を育てることで、柔らかな感性や情操を育む。
- 5 伝統的に引き継がれた匠の技の体験を通して、花背のよさを進んで発信する。

- ・あいさつの励行等規範意識を育成する。
- ・花背学習の一つとして、「チマキザサ復活プロジェクト」「地域活性化」の取組への参加、伝統行事などの研究や発信を行う。
- ・金管バンドや俳句集会、ことば学習などを通して、豊かな感性と情操の涵養を図る。

学校運営協議会を母体として
子どものために、共汗する地域

子どもとともに、子どものために進むPT

豊かな人間性と確かな指導力の向上に
切磋琢磨する教職員集団